



2026年3月12日

各位

会社名 株式会社ワールド
代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
(コード番号：3612 東証プライム)
問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
(TEL：03-6887-1300)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月12日開催の取締役会において、2025年10月3日の2026年2月期中間決算発表時に開示した2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）の業績予想の修正を決議しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2026年2月期 通期業績予想数値の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前回発表予想（A）	百万円 300,000	百万円 20,000	百万円 19,500	百万円 18,300	百万円 12,000
今回修正予想（B）	282,000	16,400	16,000	14,200	12,000
増減額（B－A）	△18,000	△3,600	△3,500	△4,100	—
増減率（％）	△6.0%	△18.0%	△17.9%	△22.4%	—
（ご参考） 前期実績 （2025年2月期）	225,658	17,013	16,742	15,452	11,051

2. 修正の理由

2026年2月期の連結業績は、第3四半期連結累計期間まで全ての利益段階で増益基調の推移でしたが、上期より苦戦が継続していたアパレルブランドについては、次期中期経営計画に備えた収益構造改革の断行が必須と判断し、徹底した生産性改善と他の成長事業への人材再配置を進めつつ、冬物仕入を戦略的に抑制してプロパー消化率の向上と在庫の適正化を最優先する戦略へと方針転換しました。この結果、キャッシュフロー及び粗利益率の改善に来期へ繋がる手応えを得ているものの、第4四半期連結会計期間の年末年始セール商戦も含んだ繁忙期で売上高が計画を下回った影響を補うには至らず、コア営業利益の予想を下方修正いたします。

また、持分法適用関連会社であるラクサス・テクノロジーズ株式会社について、直近の業績動向および株価推移を踏まえ、持分法による投資損失27億円を計上する判断に至ったことから、第3四半期連結累計期間までの営業利益の計画超過分を取り崩す見込みとなりました。これは、将来の不確実性を排除してROIC経営の本格始動に備えつつ、次期中期経営計画に向けた財務基盤の健全化を図るための措置です。

一方で、親会社の所有者に帰属する当期利益は、グループ内組織再編に伴う税効果会計の適用等により法人所得税等の減少が見込まれるため、上記のアパレルブランドの収益構造改革や持分法による投資損失を計上したことによる影響を相殺し、中間決算発表時に増額修正した前回予想の120億円を据え置きます。これに伴い、1株当たりの期末配当予想につきましても、これまでの予定どおり60円（年間109円）を維持いたします。

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以上